

と云るにて、是は其陵戸無きか、或はたらざれば其陵の近き民戸を差充て守らしむるをいふ。

諸陵式各陵の下に守戸とあるは是なり。

〔日本書紀三十五年十月乙巳詔曰、凡先皇陵戸者置五戸以上、自餘王等有功者置三戸、若陵戸不足以百姓充、免其徭役、三年一替。〕

〔延喜式二十〕凡山陵者置陵戸五烟令守之、有功臣墓者置墓戸三烟、其非陵墓戸差點令守者先取

近陵墓戸充之。

〔延喜式二十〕日向埃山陵 天津彦彦火瓊杵

日向高屋山上陵 彦火出見尊在國無陵戸

日向吾平山上陵 彦波瀬武鷗鷺草草不

〔延喜式二十〕菅原伏見東陵 繼向日代宮御宇景行天皇在國無陵戸

○按ズルニ此他應神天皇陵ニ陵戸二烟アリ、今之ヲ略ス。

〔延喜式二十〕山邊道上陵 繼向日代宮御宇景行天皇在國無陵戸二烟

○按ズルニ此他仲哀允恭顯宗安閑推古ノ五天皇陵ニ陵戸各一烟アリ、今並ニ之ヲ略ス。

〔延喜式二十〕百舌鳥耳原中陵 難波高津宮御宇仁德天皇在國無陵戸一烟

○按ズルニ此他履中反正欽明皇極天武文武ノ六天皇陵ニ陵戸各五烟アリ、今並ニ之ヲ略ス。

〔延喜式二十〕丹比高鷲原陵 泊瀬朝倉宮御宇雄略天皇在國無陵戸五烟

○按ズルニ此他清寧光孝ノ二天皇陵ニ陵戸各四烟アリ、今並ニ之ヲ略ス。

〔延喜式二十〕倉梯岡陵 倉梯宮御宇崇峻天皇在國無陵戸四烟

押坂内陵 高市嵐本宮御宇天智陵天皇在國無陵戸四烟

山科陵 近江大津宮御宇天智陵天皇在國無陵戸四烟